# どうする？ どうとくだ先生！2

## マンガで考える道徳教育

前回のあらすじ

小学二年生の教材「ぽんたとかんた」で授業をすることになった真理

しかしそこには「指導案作り」という大きな壁が待ち受けていた…

正木真理（まさきまり）

久慈善人（くじよしひと）

徳田一道（とくだかずみち）

ソフィー

ぽんたとかんた

内容項目はA「善悪の判断、自律、自由と責任」

真理たちは学習指導要領解説を開き低学年の指導の要点を読み解きながら教材のポイントを押さえていった

そこから見えた本学習のねらいとは…!?

も、もういいって

こんな場面あったっけ…?

…さて正木先生、ここまでで分かったことをまとめてみようか

は、はい！えっと…

| 内容項目A「善意の判断、自律、自由と責任」の要点（低学年の場合） | 教材「ぽんたとかんた」でポイントとなる場面 |
| --- | --- |
| 1. よいことと悪いことの判断 | ①「ぼくは行かないよ。」と叫ぶぽんた<br>②「ぼくも行かない。」と言うかんた |
| 2. よいと判断したことを実行したときの喜び<br>→具体の世界を生きる低学年は「動機」よりも「結果」に関心が向きやすいため | ③気持ちよくブランコに揺られるぽんたとかんた |

いろいろと考えましたよね…

楽しそう

かんたと一緒に遊びたい！

かんたは平気と言っているし…

けがをするかも

帰れなくなるかも

叱られるかな

家族が心配するだろうな

ハラハラ

次に「行かない」と決めてからの二人はどうかな？

ブランコに乗っているところですね！

しっかり考えて決められた！

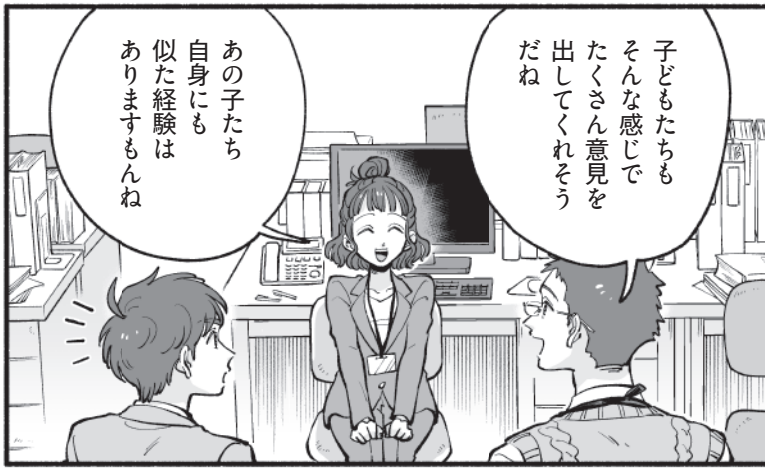
ちゃんとかんたに伝えられてすっきりした

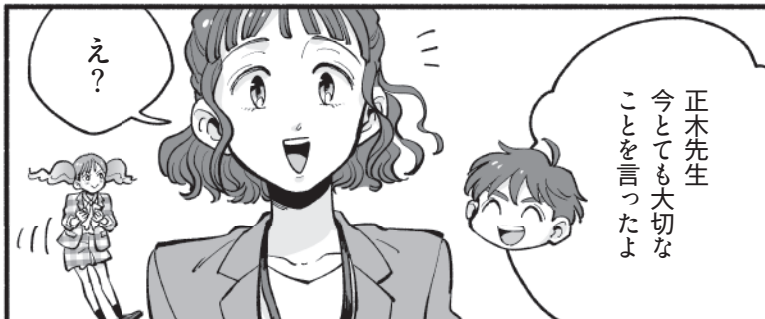
行っていたらもやもやして楽しめなかったかも

自分で考えて決めた！

心配をかけずに済んだ

うんうん



そうか！
みんなで「考え、議論する」ことで、その見方や考え方が出てくるんですね！
それが道徳！
ぐっ!!
さあ、さっき確認した内容項目の要点を踏まえると今回はどんなことに気づかせたい？
第三層だよ！子どもの言葉で考えてみて！
教材の状況（登場人物の行動や出来事）
登場人物が考えたことや感じたこと
道徳的価値に対する考え方や感じ方、生き方
第三層
子どもの言葉で…
…よいかどうかを迷ったときはよく考えてみることが大切で…
よく考えて自分で「よい」と思ったことを行うといい気持ち！
おおらっ
いいじゃん！教材の話ではなく道徳的価値レベルの考え方にまで深められているね
うんうん
今正木先生の言ったことが今回のねらいになるんだよ
あっなるほど！
では、ねらいはこんな感じでしょうか
ねらい
よいか悪いかを自分でよく考えたうえでよいと思ったことを行うと、すがすがしい気持ちになることを理解し、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。
バーン！
よーし！やっとねらいが定まりましたね！
君はなにもしてないけどな…!?

よし、ゴールが見えたところで…

次は お待ちかね！ **中心発問**だよ！

え、いきなり中心発問なんですか？

中心発問は ねらいに迫る 一番大切な発問！ ほかの発問は そこから逆算して 考えるといいよ

ねらいに迫る 中心発問 ＝山場

補助発問

基本発問

導入発問

ほぉ〜

うーん… どの場面を 問おうかな

ぽんたが 「行かない」と 決めた場面 ですよ！

どうとく

えっ ブランコの 場面は？

あっそうか じゃあ 中心発問は2つ なんですね♪

それじゃ 中心が ブレブレ だって！

どちらを 中心にするかは 子どもたちの 実態を踏まえて 指導者が判断するんだ

指導者…

2年1組 担任

ドキーン

ええと…

うちのクラスの子たちは 行く・行かないのどちらが 大切かは判断できると 思います

ただ、やはり 「叱られるから」 という理由の子が 多いかと…

しかられる かも…

ってことは…？

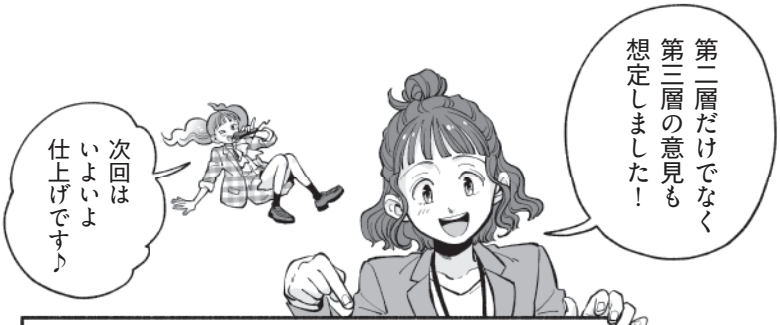
ブランコの場面が中心発問だ！
です♪
じゃあ中心発問はこんな感じ？
ブランコに乗りながら二人はどんなことを考えていただろう。
うん悪くないけど…
ここで気づかせたい「気持ちよさ」は「考え」とは少し違うよね
例えば大事にしまっていたお菓子がなくなったときの「気持ち」と「考え」は違うでしょ
気持ち
くやしい
悲しい
考え
今度からは名前を書いておこう…
また買ってもらおう…
ここではまず二人の「気持ちよさ」をみんなで確かめ合って…
その気持ちよさは「自分で決めたからだ」ということを押さえたいね
う〜〜ん…
ポクポクポクポク…
チーン！
中心発問
では、これでどうでしょう！
風を気持ちよく感じながら二人はどんなことを思っていたのだろう。
Good!
「どんな気持ちか」「何を考えたか」両方の意見が出てきそうだね
やった〜〜!!
中心発問に対する子どもの反応例も忘れないうちに書いておこう！
は、はいっ！

つづく

# どうする？とくだ先生！2 マンガで考える道徳教育

## 第３回　まとめ

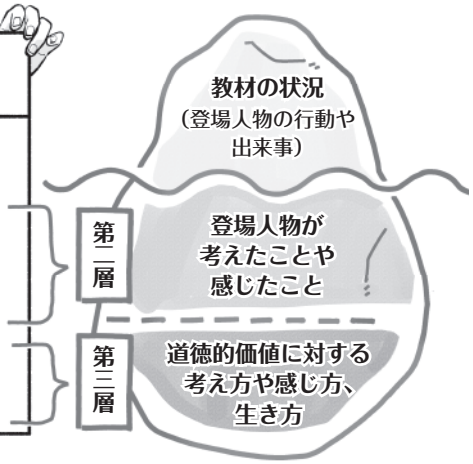
ねらいは、道徳的価値レベルで子どもたちの言葉を想像して
具体的に設定しましょう。
中心発問は、それに迫る問いとして、
ここでも子どもたちの意識を想像しながら考えましょう。




**中心発問（◎）と**
**予想される児童の意識（・）**

◎ 風を気持ちよく感じながら、二人はどんなことを思っていたのだろう。

- いい気持ちだな。
- 行かなくてよかった。
- ちゃんと自分で決められたから気持ちいいんだ。
- よいか悪いかを自分でしっかり考えて行動したら、とてもよい気持ちになる。





どうする？ とくだ先生！ ２　マンガで考える道徳教育　＜第３回＞

令和５（2023）年９月７日発行

発行所　日本文教出版株式会社

〒558-0041　大阪市住吉区南住吉 4-7-5　TEL：06-6692-1261

○本作は日本文教出版編集部の原作のもと，畿央大学大学院教授 島恒生が監修し，たら子が作画したものです。

内容についてのお問い合わせは，編集部へお寄せください。（TEL：06-6695-2090　FAX：06-6695-3467）



○本作の無断転載・複製を禁じます。